

静岡県立天竜高等学校

令和7年度 第1回学校運営協議会 議事録（概要）

1 開催日時 令和7年5月27日(火) 14:00～16:00

2 開催場所 静岡県立天竜高等学校（二俣校舎）会議室

3 学校運営協議会委員任命及び自己紹介

欠席者なし

次のように会長、副会長を決定した。

会長：市川 勲 氏

副会長：町田 和代 氏

4 議事の概要（次第）

(1) 令和7年度天竜高校「学校経営計画」について（校長）

スクールミッション、3つのポリシー、身に付けさせたい8つの力、
スクールポリシー具現化の柱、本年度の取組について

「学校経営計画」のうち「目指す学校像」について、全会一致で承認された。

(2) 学校の状況について（副校長）

①学校の概要について

②学校の様子

5 意見交換（本校に期待する教育内容や生徒像について）

質問1 福祉科が生徒募集で苦戦している理由

←県のアンケートを見ると中学生の希望が少ない。周知は進んでいる。(学校)

←職業としての認識が未だ低い。親が福祉関係の職についている人が増えてきたが、処遇の課題はある。(委員)

意見1 経営学的に、コストリーダーシップと差別化が大切。特に他校との差別化が重要である。

意見2：地域のボランティアでは、ボランティア部の生徒がよく来てくれる。ボランティア部以外の生徒も参加できるとよい。ボランティアで来た高校生に対し、小中学生はあこがれを持つ。積極的にボランティアに参加してほしい。

←ボランティア部以外の生徒にももっと声をかけていく。

←二俣小の運動会ボランティアは2年目。中学も含めつながっていききたい。(学校)

意見3 ディズニーアカデミーは、ワクワク感があり売りになる。

- 意見 4 福祉科の新入生 4 人に、学生目線で「共感」することからスタートするとよい。「志望理由」「志願していたが受検しなかった友人の不受検理由」などを聞くことで、新たな発見がある。
←ぜひ取り入れて分析してみる。(学校)
- 意見 5 再編は避けられない。ビジネス系列の受け皿を他校に求めるのではなく、例えば探究系列の中でビジネスを学べる部分を用意する。
←自由選択科目で残すことなども検討したい。(学校)
- 意見 6 介護福祉士は増えてきているが、大学や専門学校は学費も高い。高校で資格を取れるのはとても意味がある良いことである。
- 意見 7 地域の活性化として観光と一体化した二俣駅の街を歩く健康ウォーキングツアーの企画もある。地域のことを知る、学ぶことに取り組んでいる天竜高生に道案内をお願いするという案もある。
- 意見 8 広い視野を持つ、相手の目線を考えることが大切である。

6 その他

次回は、10 月 27 日（月）の開催予定である。
第 3 回は、2 月 4 日（水）の開催予定である。

令和7年度 学校運営協議会 委員

(順不同・敬称略)

	氏 名	所 属	備 考
委 員	村瀬 勇	社会福祉法人天竜厚生会 総務部長	
委 員	町田 和代	本校PTA 会長	
委 員	市川 勲	本校後援会 理事長	
委 員	坂井 典子	地域代表	
委 員	島 明男	天竜商工会 事務局長	
委 員	坪井 秀次	静岡大学学術院 グローバル共創科学領域グローバル共創科学部/未来創成本部 准教授	
職 員	渡辺二三彦	天竜高校 校長	
職 員	井上 千春	天竜高校（二俣校舎）副校長	
職 員	大津久美子	天竜高校 事務長	
職 員	須山 訓秀	天竜高校（二俣校舎）教頭	